

普及だより

きみつ

〒292-0833 木更津市貝渕3-13-34 TEL. 0438(23)0299
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

発行

千葉県君津農業事務所
君津地域農業改良普及事業協議会

編集

千葉県君津農業事務所
改良普及課



ゆりの里常設店舗「MILK HOUSE」



農事組合法人みずき会会員11名



アイス用の桜の摘み取り



袖ヶ浦市産の米粉を使用したクレープ

農事組合法人みずき会の功績が
表彰されました！
（農山漁村女性活躍表彰で経営局長賞を受賞）

みずき会（会員11名）は、袖ヶ浦市の女性酪農家の集まりとして昭和54年に発足しました。「みずき会」という名称は、ミズキの花が一斉に上を向いて咲くことから、『会の向上をみんなで願い、いつも明るく楚々とした女性であるように』との願いが込められています。以来、会員が主体となり、市・農協・農業事務所等の関係機関と協力しながら、生活改善や牛乳消費拡大に取り組むなど、女性の社会参画の先駆けとして活躍してきました。

また、地元の農産物を活用した季節のアイスクリームや袖ヶ浦市産の米粉を使用したクレープ等の商品開発にも、取り組んでおり、平成19年には、法人化を契機に市内の直売所に常設店舗を開設しました。平成26年には東京ドイツ村に、2号店を開設し、農産物の利活用による農業の経営発展や雇用創出等、地域にいつそう貢献しています。

これらの活動実績が認められ、昨年3月に令和元年度農山漁村女性活躍表彰において、優秀賞（経営局長賞）を受賞しました。

農業事務所では、今後も知識や技術を習得するための研修会等を開催し、引き続き起業者活動及び女性農業者の経営参画・社会参画を支援していきます。

（加藤）

露地野菜および果樹の 台風対策について

「事前・事後の管理が重要」

【はじめに】

昨年は令和元年房総半島台風等によって、君津地域の農業は大きな被害を受けました。今後の台風被害を軽減して頂くために、露地野菜および果樹それぞれの台風対策を紹介します。

○露地野菜の台風対策

【事前対策】

台風の接近、上陸の恐れがある場合次の対策を行いましう。

- 大雨によりほ場が冠水すると、地下への雨水の浸透だけでは十分な排水は期待できません。事前に暗きよ排水の点検を行うとともに、ほ場周縁部に明きよを敷設し、排水方面につなげ、表面排水を促しましょう。また、水田後作に野菜を栽培する場合は、排水溝等の詰まりがないか事前に確認しましう。

- キャベツ、ブロッコリー等、茎葉の被害により大きな減収や品質低下が予想される野菜では、あらかじめ土寄せを行い、倒伏を防ぎましう。また、寒冷紗や不織布等をべたがけし、茎葉

の傷みを抑えましう。

- 強風による倒木等で停電が発生する可能性があるため、散水等に使用する水を溜めておきましう。



写真 べたがけの様子

【事後対策】

台風通過後、自身の安全が確保でき次第、次のことを行いましう。

- 速やかにほ場の排水を図りましう。
- 台風通過後は気温の上昇が著しいので、強風対策でべたがけをした場合は速やかに資材を除去しましう。

- 栽培中の作物には、防除剤等を参考に、使用基準を遵守して殺菌剤を散布しましう。

- ほ場の排水が進み、土壌表面が乾いてきたら、追肥用化成等を用いて追肥を行い、軽く中耕を行うことにより、生育の回復を促しましう。

- 発芽前の種子の流出や、発芽直後で傷みが著しい場合は、速やかにまき直しましう。

○果樹の台風対策について

【事前(恒久)対策】

常に対策を行うことで台風による被害を軽減させます。

- 防風林や防風ネット、多目的防災網を設置し、風害を軽減しましう。
- 幼木では丈夫な支柱を立て、高接ぎ樹では欠落がないように結束しましう。

- 棚仕立て栽培等では結束が十分にされているか確認しましう。

【直前対策】

直前対策を、台風接近前に余裕を持って行いましう。また、作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行うようしましう。

- 倒伏、枝折れ防止のため、樹や枝に支柱、添木をしましう。
- 水田等排水の悪い園では、滞水しないようはけ口をつくるなどの整備をしておきましう。

- 収穫期に入っている果実は事前に一齐収穫し、販売まで冷蔵貯蔵しましう。

う(薬剤散布後の経過日数には注意すること)。

【事後対策】

事後対策は台風通過後、風雨がおさまってから行いましう。特に、水路や傾斜地においては台風通過後も洪水や土砂崩れのおそれがあるため、十分に注意しましう。

- 樹が倒伏したものは、無理のない範囲で徐々に起こし、土寄せして支柱を立てましう。

- 園の排水に心がけ、滞水した場合は速やかに排水しましう。
- 落果した果実は早めに処分しましう。

- 葉の損傷の激しい園では殺菌剤を散布して病害感染を予防し、葉を健全に保ちましう。

- 多目的防災網の防風ネットが破損した園では、ただちに修理し、次の災害に備えましう。

- 農薬散布を実施する場合は、使用基準を遵守して散布を行いましう。特に収穫前日数には注意しましう。これらの事前・事後対策を実施し、被害軽減に努めましう。

(野菜：渡邊、果樹：田中)

若手レタス生産者への

GAP導入に向けて

〔熊本県八代地域における〕

GAP先進事例視察報告

〔視察の目的〕

食品衛生法の改正に伴い、全ての食品等事業者に対して、HACCPに沿った衛生管理の実施が義務化となります。これを受けて、業務加工向け野菜を出荷している生産者は、現在の取引先からも、今後GAP認証を取引要件に求められる可能性が高まっています。

そこで、JGAP(ジェイギャップ)を取得し、複数の業者と契約取引を行っている先進的な事例がある熊本県八代市に赴き、認証取得の経緯や、GAP認証の経営的效果について調査及び情報収集を行いました。

また、産地全体へのGAPの普及を進めている優良事例として、JAやつしろトマト部会の取組を視察し、君津地域の若手レタス生産者全体にGAPを実践させるための方法を調査しました。

※GAPとは、農業において、食品安全環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための取組のことを指します。

取組を第3者に認証してもらう制度としてJGAPやGLOBALG.A.P.(グローバルギャップ)があります。

〔先進農家調査〕

(株式会社TACやつしろ)

八代市内で70haの厳寒期レタス(施設、露地)、水稲20ha、スイートコーンやメロンの作付けを行い、レタスについては2010年からJGAP認証を取得し、業務加工用レタスの出荷を行っている株式会社TACやつしろの代表理事である野田氏より説明を受けました。

GAP認証のメリット

- 様々な帳票類を整備する中でデータが集積され、栽培計画等が立てやすくなった
- 事故や怪我がとにか減った
- GAP認証取得で苦勞した点
- 従業員の手洗いの確保の為、移動式のトイレカーを設置する必要があった
- 複数の認証に対応すると基準が認証毎に異なり細かな対応が必要である

等GAP認証に関わる様々な事項を具体例と共に教えて頂きました。



(株)TACやつしろが導入したトイレカー

〔産地全体でのGAP取組〕

(JAやつしろ)

JAやつしろトマト部会における熊本版GAP認証取得の取組について説明を受けました。348戸の全戸について、営農指導員を中心に普及指導員も含めた6人程度のチームで農舎の片付けにいき、なぜこの位置にこれが必要かなければならないか、GAPの考えに基づき説明しながら農家と一緒に作業をする取り組みをしていました。

また、片付けが終わった農舎を会場に農舎整備講習会を開催し、周辺の農家への波及を狙った他、講習会の講師をチーム員の中で毎回交代し、全チーム員が主体的にGAPについて考えるように工夫して取り組んでいました。

部会という大きな組織においてGAPを推進するにあたっては、最初から348戸全ての農家を対象にするのではなく、3か年計画を立てていきました。1年目は主要な農家から仕掛け、2年目は興味を持った生産者に取り組みさせることで、最終年度は積極的ではなかった人も周囲からの声掛けで取り組むように仕向けていきました。



JAやつしろでの農舎整備講習会の様子

〔今後の普及活動に向けて〕

若手レタス生産者への「GAPをする」の実践については、JAやつしろにおける取組を参考にし、JAや市役所等の関係機関との連携なども含め、君津地域の実情にあった新たな方法を検討していきたいと考えています。

(近森)

★水稻新品种「粒すけ」★

千葉県が育成した水稻の新品种「粒すけ」の一般栽培が今年度から始まりました。

【主な特性】

【コシヒカリと比較して】

- ・栽培時期がほぼ同じ(晩生)
- ・収量が約8%多い
- ・かん長が短く、倒れづらく安定生産ができる
- ・大粒で、炊飯米は白く光沢に優れる
- ・同等の良食味

コシヒカリは、近年、強風や長雨等による登熟期の倒伏が発生しています。登熟期の倒伏は登熟不足を招き、収穫が遅れることでさらに品質が低下してしまいます。粒すけは、このような問題点に対応する品種として育成されました。

【令和元年度の栽培結果】

君津市で栽培を行い、は種は4月16日、定植は5月8日で、基肥は窒素成分で6kg(コシヒカリは4kg)、追肥は窒

素成分で2kgでした。幼穂形成期や出穂期はコシヒカリとほぼ同じ日でしたが、粒すけの品種特性が発揮されて、かん長は低く、千粒重は重くなりました。収量はコシヒカリが10a当たり480kg、粒すけが540kgとなり、粒すけが多収となりました。



令和元年 粒すけ現地検討会の様子 (8月9日)

【今年度の生育状況】

今年度の調査ほ場(君津市、木更津市)での栽培条件等は次のようになります。

【は種・育苗について】

君津市のほ場では、1箱当たり乾もみで180gを3月26日には種しています。また、平置き無加温方式による出芽を行っています。木更津市のほ場では3月26日には種されました。

【移植について】

君津市のほ場では5月2日に坪50株で移植しています。また、施肥に関しては、一発肥料(10a当たり窒素9kg)を用い、生育状況を確認しながら必要に応じて窒素1〜2kgの追肥を行う体系です。木更津市のほ場では4月21日に坪60株で移植されました。

【現在の生育状況】

生育は非常に順調で、茎数も十分に確保できたため、君津市のほ場では6月9日から中干しに入りました。幼穂形成期は、君津市のほ場で6月

21日、木更津市のほ場で6月18日、出穂期は君津市のほ場で7月16日、木更津市のほ場で7月15日でしたので、8月下旬には成熟期を迎えると予想されます。



令和2年 粒すけ生育の様子 (7月31日撮影)

粒すけは、耐倒伏性に優れ、業務用米など幅広い用途に対応できる品種です。水稻の安定生産のため、来年の栽培を検討してみたいかがでしょうか。

(鐘ヶ江)

令和3年度 千葉県立農業大学校の学生募集(推薦入学・一般入試)について

本県農業の担い手及び指導者を目指す入学生を募集します。

▼募集人員 農学科80名、研究科20名(推薦入学で募集する者を含む)

▼試験期日 推薦入学:令和2年10月27日(火)

A日程:令和3年1月8日(金)、B日程:令和3年2月16日(火)

▼願書受付 推薦入学:令和2年9月28日~10月9日、

A日程:令和2年12月7日~12月18日、B日程:令和3年1月25日~2月5日

▼問合せ 庶務教務課0475-52-5121 ▼ <http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>

